

大自然の恵み '風' を受けて帆走を楽しむのは素晴らしい事です。そしてヨット基本中の基本は わが命を大切に守る事です。国際OP協会のHPのテクニカル委員会には 左のような警告の記事が出ています。自然が 危険だからと言って自己に閉じこもってばかりでは良い人生とは言えません。安全性をよく学び、かつより有意義な活動をお続け下さい。

Class info > TECHNICAL > SAFETY

Menu

TECHNICAL COMMITTEE

CLASS RULES

IS IT AN OPTIMIST?

GETTING A SAIL NUMBER

SAFETY



# 安全性について

## SAFETY

### Safety warning

Hooks like the one shown in the image to the left can open and catch in your clothes. This can be DANGEROUS, especially in a capsized.



**DO NOT USE THIS TYPE OF HOOK**

See all Class Rules but especially:

#### CR 3.5.3.8

##### Clearance between the span and the boom

The method of attachment of the mainsheet or mainsheet block(s) to the boom is optional (provided they cannot slip along the boom, and the maximum clearance between the span and the boom shall be not more than 100 mm, at any position along the boom). The position of the blocks or the length of boom strops shall not be adjusted while racing.

#### CR 4

##### Personal buoyancy, bailer (tied in), paddle (tied in) etc.

**4.2 (a)** The helmsman shall wear a personal flotation device to the minimum standard ISO 12402-5 (Level 50) or equivalent. All fastening devices supplied by the manufacturer shall be used in the manner intended. A whistle shall be carried securely attached to the personal flotation device.

**4.3** The following equipment shall be on board while racing:

**(a)** One or more bailers which shall be securely attached to the hull by a lanyard(s) or elastic cord(s). One bailer shall have a minimum capacity of one litre.

**(b)** A painter of a single piece of buoyant rope, not less than 5 mm diameter and not less than 8 m long securely fastened to the mast thwart or mast step. (see also 3.2.6.1).

**(c)** A paddle of wood and/or plastic, weighing not less than 200g, having corner radii of minimum 5 mm and a blade able to contain a rectangle of 200 mm x 130 mm shall be securely attached to the hull by a lanyard or elastic cord.

### 安全上の警告

左の画像のようなフックが開いて、衣服に引っかかる可能性があります。これは、特に転覆の場合には危険な状況が起こり得ることがあります。

**このタイプのフックは使用しないでください。**

すべてのクラスルールを参照し、特に：

#### CR 3.5.3.8

##### スパンとブームの間のクリアランス

ブームにメインシート 又は メインシートブロック (複数) をとる方法は 任意である。(ブームに沿って移動できないものとし、張り索とブームの 最大隙間はブームに沿って どの位置でも100mm 以内) ブロックの 位置やブーム ストラップ の長さは レース中に調節してはならない。

#### CR 4

##### 個人の浮力、ベイラー (結ばれる)、パドル (結ばれる) など。

**4.2 (a)** ヘルムスマンは 少なくとも ISO 12402-5 (レベル 50) または 同等基準の 個人用浮揚用具を着用すること。全ての装着装置は供給する製造者の 意図に従う方法で使われること。笛は 救命胴衣にしっかりと取り付けられていること。

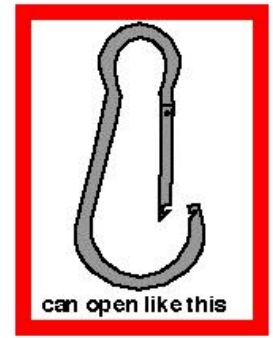
**4.3** 次の装備を、レース中艇に積むこと：

**(a)** 1 個以上のベイラーを それぞれ単独に ラニヤード (複数) または弾性コード (複数) でハルにしっかりと取り付けること。1 個のベイラーは 最低 1 リットルの容量があること。

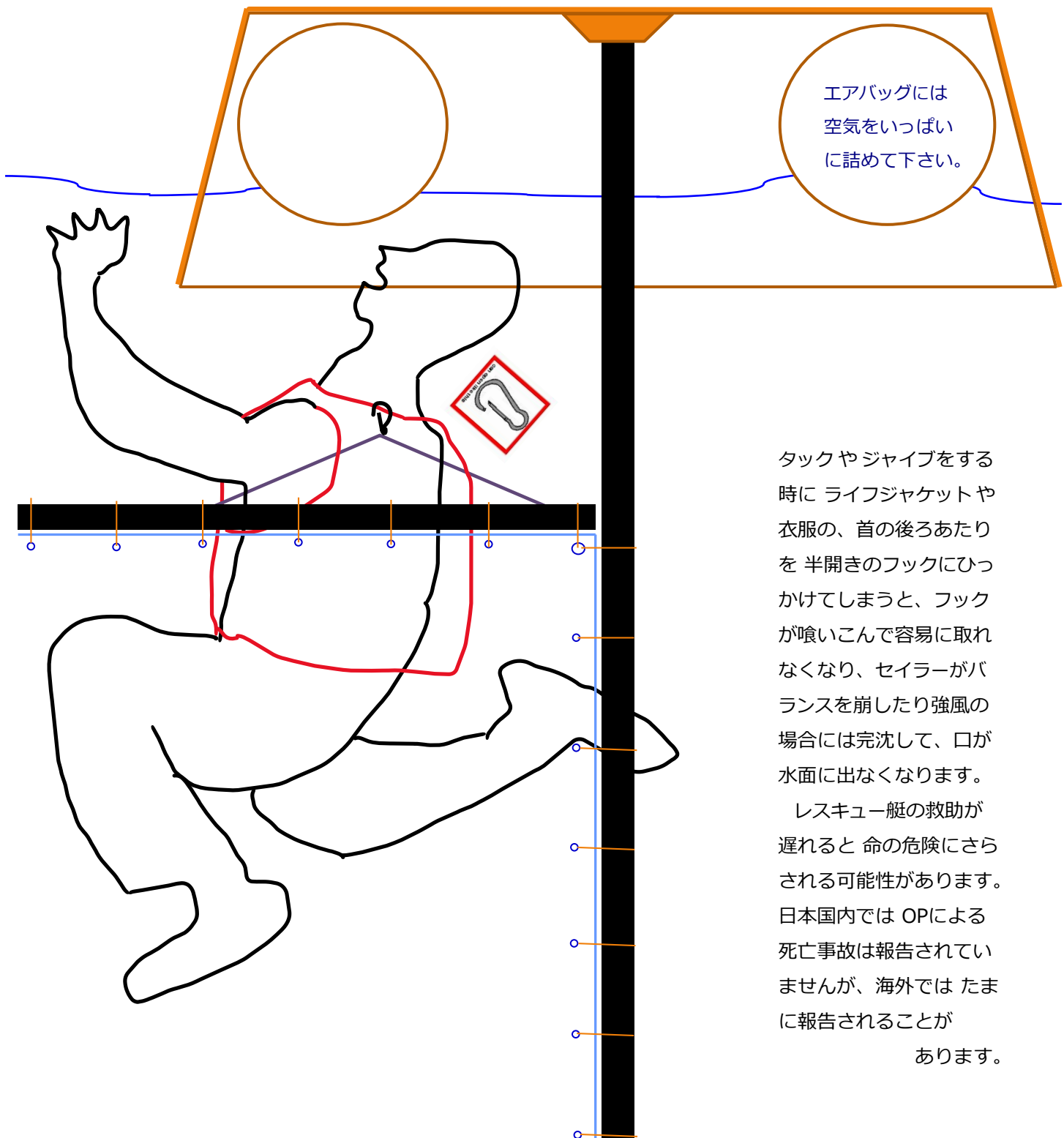
**(b)** 1 本の 浮く もやいロープ、直径 5 mm 以上 長さ 8 m 以上でマスト ストートか マストステップにしっかりと留める事。

**(c)** “ ウッドやプラスチック製のパドル、重さ200g以上、コーナーは 5 mm 以上に丸め、寸法は 200mm×130mm を含む長方形とし、ラニヤード または弾性コードで ハルにしっかりと取り付けること。”

これは クラスルールでは  
ありません。 クラス  
ルール 以上に重要です。



この状態のブームブライタルに掛ける  
フックは 非常に危険です。



タックやジャイブをする  
時に ライフジャケットや  
衣服の、首の後ろあたり  
を 半開きのフックにひっ  
かけてしまうと、フック  
が喰いこんで容易に取れ  
なくなり、セイラーがバ  
ランスを崩したり強風の  
場合には完沈して、口が  
水面に出なくなります。

レスキュー艇の救助が  
遅れると 命の危険にさら  
される可能性があります。  
日本国内では OPによる  
死亡事故は報告されてい  
ませんが、海外では たま  
に報告されることが  
あります。